



☆Merry Christmas☆

はやいものでもう12月。
陰暦では12月を師走(しわす)



といいます。由来は諸説ありますが、僧侶がお経をあげるために東西を馳せる月、というもの。年末特有の気ぜわしい雰囲気とうまく表していますね。つい、鼻歌でユニコーンの「雪が降る町」を歌ってしまう季節でもあります。♪ぼ〜くらのまちに今年も雪が降る〜♪奥田民生の名曲です。みんなのお父さんやお母さんは知っているかも!?

分身ロボット OriHime (オリヒメ) って知ってる?

『ミライの武器 「夢中になれる」を見つける授業』吉藤 オリィ著

たとえば
この本

11月2日、2021年度グッドデザイン大賞が発表され、株式会社オリィ研究所による「遠隔就労・来店が可能な分身ロボットカフェ」が受賞しました。あれ、この光景どこかでみたような。そうそう、pepperだ!と思った人、実は違うんです。



この店舗は、体が不自由などの理由で外出困難な人々が、分身ロボット「OriHime」「OriHime-D」を遠隔操作しサービススタッフとして働く実験カフェなのです。「OriHime」は席に行きオーダーをとったり、ドリンクサーブなどを行います。お客さんは飲食を楽しみながら、遠隔で働く OriHime パイロットと話をすることもできます。AIや自動化ではなく、人が操作するというローテクが新しい価値を生み出したのです。

このグッドデザイン大賞とは、ロボット「OriHime」と、それを活用して就労、来店できる場所「分身ロボットカフェ DAWN」店舗デザイン、社会とかかわり続けるための仕組み「遠隔就労人材紹介サービス AVATAR GULD」サービスを合わせた一連の仕組みが評価されたものなのです。

分身ロボット「Orihime」を開発したのは吉藤オリィさん。どんな人なのか知りたくなり、著書を読んでみました。こんなエピソードが紹介されています。生まれつきの病気で身体をほとんど動かさず、しゃべることもできない寝たきりの友人がいる。彼女のために“じゃんけん”ができる「手だけのロボット」をつくった。身の回りの材料とシンプルな装置を使ったもので、彼女は学校の友だちと生まれて初めてじゃんけんをした。とても興奮したという。ロボットや道具を発明するうえで大切なのは「技術」でも「道具」でもない。「どんなすごいものをつくるか?」ではなく「それを使って何がしたいか?」。著者の考え方をよく表したエピソードであり、その考え方に共感しました。テクノロジーとはこうあってほしい。

また、同じ服を16着持っていて制服化しているとか、階段好きが高じて自宅のふきぬけに階段を自作したとか、ご本人のキャラクターもなかなか味があります。まだ何者でもない、何者になりたいのか、なれるのか分からない。そんなわからないだらけの中を手さぐりで進もうとするとき、明日に希望をくれる良い本でした。EMCに所蔵しているので気になったら借りてみてくださいね。(津田)



『ミライの武器 「夢中になれる」を見つける授業』
吉藤 オリィ (著)
配架場所: 2F 開架
請求記号: 159/Y87



新着図書ピックアップ

『ひとりずもう』

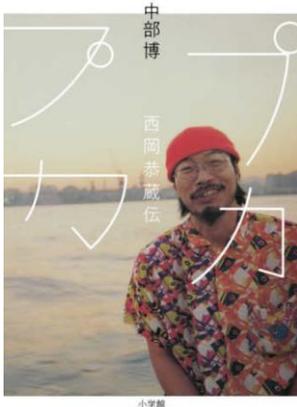
さくら ももこ【著】

さくらももこさん、ちびまる子ちゃんの作者です。エッセイも独特な視点と正直な感想でクスッと笑える面白いものばかりです。この作品は中高生時代の自伝もので、日々のあれこれ、少し遅い思春期を迎えたことや妄想が過ぎる初恋、また将来を考え始めたりします。気持ちが揺れ動く多感な年頃を彼女の視点で見ると面白味があって悩んでいる様子も少し可笑しく見えてくるから不思議です。また夢にはとても真面目に取り組んでいるところが普通のぐうたらさと違って興味深かったです。他にも図書館にさくらさんのエッセイがありますよ♪。(大原)



『プカプカ—西岡恭蔵伝』

中部 博【著】

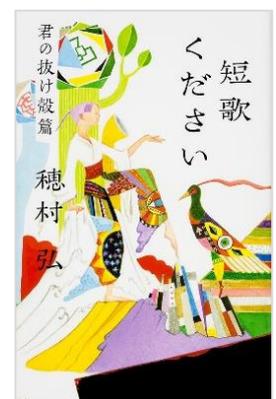


「プカプカ」という曲を知っていますか。俺のあん娘はタバコが好きでいつもプカプカ♪という歌いだして始まるこの曲、桑田佳祐に泉谷しげるなど、実に50人以上にカバーされているそうです。私も初めて聞いたのはハナレグミのカバーでした。「おれのあんこ」って今やなかなか言わない言葉ですが、当時は使ったのかな。この曲が生まれたのは1971年。西岡22歳の時でした。若者たちはベルボトムのジーンズをはき、ヒッピーにあこがれてフォークソングを歌う時代。たまり場となったディランという名の喫茶店では、金のない学生や若者などの常連客がコーヒー1杯で一日中居座るといった、当時の様子が生き生きと描かれていてとても興味深かったです。フォークソングに興味ある人もない人もぜひ。(津田)

『短歌ください 君の抜け殻篇』

穂村 弘【著】

本書は、歌人である著者が読者からの短歌を選び講評するという『ダ・ヴィンチ』の人気連載を一冊にまとめたもの。選ばれた歌はどれも詠み手の感性がぎゅっと詰め込まれていて、もうハンパなく上手い、濃い！こんなふうに表現できるんだと圧倒されてしまいます。さらに穂村弘の講評が付くことでその歌が益々キラリと輝きます。ストーンと読めて、じわーっと余韻、最後にはなぜか笑えます。この『短歌ください』はシリーズもので、『～明日でイエスは2010才篇』をEMCで所蔵、雑誌『ダ・ヴィンチ』は雑誌コーナーにあります。三十一文字にもっと浸りたくなったら方はあわせてどうぞ。(大塚)



新着ピックアップは毎月、司書が「これはぜひ読んで！」と思う本を選びすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。

『下北サンデーズ』

石田 衣良【著】



12月の開館予定

12月

1 水	8:10-18:50
2 木	8:10-18:50
3 金	8:10-18:50
4 土	休館
5 日	休館
6 月	8:10-18:50
7 火	8:10-18:50
8 水	8:10-17:50
9 木	8:10-17:50
10 金	8:10-17:50
11 土	休館
12 日	休館
13 月	8:10-17:50
14 火	8:10-17:50
15 水	8:10-17:50
16 木	8:10-17:50
17 金	8:10-17:50
18 土	休館
19 日	休館
20 月	8:10-17:50
21 火	8:10-17:50
22 水	8:10-17:50
23 木	8:10-16:50
24 金	8:10-16:50
25 土	休館
26 日	休館
27 月	休館/館内整理
28 火	休館
29 水	休館
30 木	休館
31 金	休館

物語の舞台は東京 下北沢。

私の親友が下北沢に住んでおり、毎年のように訪れているところなので、よく知る街でもあります。

残念ながら、ここ2年間は、コロナ禍の影響で行くことができていませんが、小説を通して下北沢の雰囲気だけでも。。。と思い本書を手に取りました。

下北沢という街は、細い路地に古着、カフェ、カレー店をはじめ多く店が軒を並べ、日中は若者で賑わっています。渋谷のように一日中賑やかな街ではなく、20時を過ぎるとピタッとひと気がなくなります。ONとOFFがハッキリとした街です。また、本多劇場をはじめ大小さまざまな劇場が存在し、演劇の街としても有名です。そのため、下北沢には芸人や俳優が多く住んでいるようです。私も数年前に芸人？作家？のピース又吉直樹さんをローソンで見かけたこと（私の前に並んでいた）もあります。

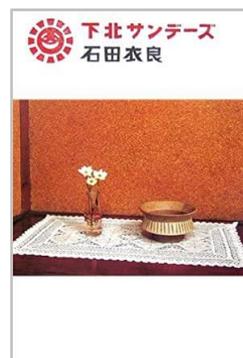
本書は、演劇の街 下北沢で10年間 小劇場ですら満員にできない弱小劇団「下北サンデーズ」に主人公が加入します。弱小劇団のため舞台だけで生計を立てることができず、むしろ、舞台のたびにお金がかかる状態のため、生活を切り詰めながら舞台に出る日々を送ります。

現実世界においても、多くの若者が自身の夢を掴むため、観客に感情や幸福感を与えるために自らの生活を切り詰めながら下北沢の舞台に今日も立っていると思います。

本書は、最終的にサクセスストーリーという結果（ネタバレしませんorz）になりますが、現実世界は本書のように成功を収めるのはほんの一握り。大半は志半ばで夢を絶たれる。そんな厳しい世界だと思えます。本書を読んでいて夢に向かってチャレンジする人、生活はどうあれ正直羨ましいなって気持ちになりました。私自身、人生をかけたチャレンジをすることができませんでした。「夢」がなかったから。が答えかもしれません。今、甲子園、インターハイ、選手権出場の夢に向かって直向きに頑張ること、もちろん素晴らしいことです。ただ、人生は長いです。近い夢だけではなく、自分の人生をかけて追う「夢」を真剣に考えてください。将来何になりたいか、何をしたいか。決まれば、努力をはじめている自分がきっといるはずです。もうそういう時期です。

次、下北沢に行ったら、絶対舞台見に行くぞ！（*_*）

『下北サンデーズ』 石田衣良



第43回 園田 咲先生おすすめ

『夕風の街 桜の国』 こうの史代【著】

高校生の時学校の図書室で出会い、今は私の書棚にもある本（漫画）です。原爆をこういうアプローチで描いた作品は、これまでなかったと思います。図書室で手に取って読みはじめたものの、読み進めることができず、一旦は書架に戻してしまいましたが、どうしても気になって翌日借りに行きました。残酷な場面は一度も出てこないのに、戦争が人々に与える苦しみ伝わってくる作品です。

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどこに渡るかな？



借りて・読んで・答えて・もらおう



もうすぐクリスマスですねー。今年のEMCクリスマス特集コーナーはいつもとぜんぜん違う！

名づけて「カリ・ヨン・コタ・モラ」。借りて・読んで・答えて・もらおうです。

今年よく読まれた本の中から30冊、本に関するクイズを添えて一緒にラッピングしました。

クイズの正解者には抽選で何かいいもの用意しておきます。皆さん、挑戦してみてくださいね。

参加方法

借りる …特集コーナーで気になった本を借りよう（一人一冊一回）

読む …冬休みに本をゆっくり楽しもう

答える …クイズの答えをカウンターに提出

もらう …正解者の中から抽選で EMC 福袋などなど、プレゼント



図書みくじ feat. イチルラヒロコ

EMC 恒例新春図書みくじ！今回はあの話題のおみくじを featuring してオリジナル版を作成中です。なんのご利益もなければ、ちっとも有難くありませんが要は気持ちの問題です。1月6日からスタート。無くなり次第終了します。



1月	
1 土	休館
2 日	休館
3 月	休館
4 火	休館
5 水	休館
6 木	8:10-16:50
7 金	8:10-16:50
8 土	休館
9 日	休館
10 月	休館
11 火	8:10-18:50

図書館からのお知らせ

●冬休みの間、本の長期貸出をおこないません。

12月13日（月）～24日（金）の期間に本を借りると、返却日は一律で1月11日（火）です。

●開館時間延長

受験シーズン到来！1月11日から18：50まで開館時間延長します。

受験生の皆さん がんばってください。

編集後記 EMC 閉館時に流れるメロディー「Auld Lang Syne」。最近ちょっと変わりました。コルビー・キャレイが歌う年末感たっぷりのバージョンです。Merry Christmas & Happy new year（大塚）

今年もたくさんのご利用有難うございました。

